

地域企業マネジメント特論（一）（2単位）

担当者氏名 長澤 真史

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

地域産業を形成する農林水産業を主体とした生物産業とその加工・流通産業等の持続的な発展をなしうる企業経営の理論と方法を習得することが目標である。その際、グローバル経済が進展するなかで地域経済がますます国際的諸関係に規定されていることから、グローバル経済下における地域生物産業のマネジメントの課題を考究する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

グローバル経済	地域産業	農林水産業	マネジメント
地域企業とリスク管理	リスクマネジメント	食の安全・安心	自治体・協同組合

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義ガイダンス（第1週）	講義のねらい、進め方、成績評価方法について	◎本講義のねらいは、グ
2	グローバル経済下の地域企業（第2～6週）	現代の地域経済の特徴とその存立構造、グローバル経済の進展下の地域企業の現段階を踏まえて、地域住民視点からみた地域企業のあり様、そして地域経済を構成する農林水産業の全般的動向を習得する。	ローバル経済の視点を踏まえた地域企業のマネジメント問題を積極的な議論を通じて修得する。◎日々生起
3	地域農林水産業のマネジメント（第7～10週）	地域農林水産業について、①組織形態（家族経営と法人経営）、②経営管理能力とその育成課題、③資金の調達管理の3つの側面から習得する。	している様々な経済現象を新聞、文献等で理解しておくこと。講義の際の最初に
4	地域企業とリスクマネジメント（第11～13週）	地域農林水産業のリスク管理問題、企業における食品偽造とリスクマネジメントを踏まえて、現代社会において関心事となっている食の安心・安全問題をリスクマネジメント視点から習得する。	報告してもらい、不明確な場合は復習を課する。
5	総括（第14～15週）	地域農林水産のマネジメントについて、地域経営主体である協同組合・自治体の役割、今後の課題を習得する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

基本文献を紹介し、必要な文献・資料は配付する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に指示する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート（40点）、小テスト（60点）

◆オフィスアワー

毎週水曜日5限目、研究室で受け付けます。

◆その他受講上の注意事項

日常的に新聞等で経済の動きを把握し、種々の問題について批判的見地を持って思考することを重視する。